

平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月28日

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社 上場取引所 東・大・福
 コード番号 2579 URL <http://www.cwest.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長兼財務部長 (氏名) 角町 誠 (TEL) 092-641-8585
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 平成23年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	189,933	12.3	6,014	369.8	6,016	318.3	2,363	191.5
22年12月期第2四半期	169,182	△4.5	1,280	—	1,438	—	810	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	23.64	—
22年12月期第2四半期	8.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	350,873	225,877	64.3	2,256.00
22年12月期	346,032	226,267	65.3	2,260.03

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 225,539百万円 22年12月期 225,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年12月期	—	20.00	—	—	—
23年12月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	408,000	8.6	16,000	33.3	15,600	23.2	7,200	△5.0	72.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無： 無

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生による生産の減少や消費低迷などの影響により厳しい状況で推移いたしました。また、福島第一原発事故や、これに端を発した全国的な電力不足問題が顕在化するなど、景気の先行きは不透明感を増しております。

清涼飲料業界におきましては、雇用・所得環境の厳しさに伴う消費者の節約志向の継続に加え、節電対応に伴う生産・販売への影響が懸念されております。

このような経営環境のなか、当社グループは、「長期経営構想2020」の第1ステップ「革新と成長の3年」の初年度である平成23年度において“営業の変革”と“SCM(サプライチェーンマネジメント)の変革”を高度に進化させ、収益・ボリューム・シェア目標を必ず達成するとともに、将来に亘って成長を続けることのできる基盤づくりを進めております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

清涼飲料事業においては、“営業の変革”への取り組みを徹底して実行したことにより、販売数量および売上高は増加いたしました。さらに、平成22年10月1日付で株式を取得したキューサイ株式会社とその子会社5社を同日以降連結対象としたことにより、売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ207億5千万円増加し、1,899億3千3百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

<営業利益および経常利益>

清涼飲料事業における売上高の増加ならびに上述した新規連結会社の営業利益の影響により、営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ47億3千4百万円増加し、60億1千4百万円(同比369.8%増)となりました。また、経常利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ45億7千8百万円増加し、60億1千6百万円(同比318.3%増)となりました。

<四半期純利益>

資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失が発生した影響はあったものの、経常利益の増加を主要因として、四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ15億5千2百万円増加し、23億6千3百万円(同比191.5%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等を適用したことに伴い、従来の「飲料の製造・販売事業」を「清涼飲料事業」とするなどの変更を行っております。詳細は、[添付資料]P.9「3. 四半期連結財務諸表(5)セグメント情報等」をご覧ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ48億4千1百万円増加し、3,508億7千3百万円(前連結会計年度比1.4%増)となりました。これは主に、清涼飲料事業における最盛期である夏場に向け、売上債権やたな卸資産が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ52億3千1百万円増加し、1,249億9千6百万円(同比4.4%増)となりました。これは主に、上述のたな卸資産の増加に伴い買掛金が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億9千万円減少し、2,258億7千7百万円(同比0.2%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、160億1千7百万円のプラス(前年同期比34.0%増)となりました。清涼飲料事業における売上高の増加や新規連結会社の影響により、税金等調整前四半期純利益が増加したことを主要因として、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ40億5千9百万円増加しております。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、73億8千4百万円のマイナス(前年同期55億1千6百万円のマイナス)となりました。当第2四半期連結累計期間において、平成23年度の投資計画に基づき、積極的な設備投資を行ったこと等の影響により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ18億6千8百万円のマイナスとなりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、47億9千万円のマイナス（前年同期28億7千7百万円のマイナス）となりました。当第2四半期連結累計期間において、連結子会社のキューサイ株式会社の長期借入金の約定返済等の影響により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ19億1千2百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ38億4千2百万円増加し、412億7千6百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、依然として厳しい経済環境により消費低迷が継続する中、グループを挙げて収益改善活動を進めた結果、営業利益、経常利益、四半期純利益は計画を上回りましたが、通期の業績予想につきましては、飲料業界の最盛期である夏場の天候や原材料・資材の更なる高騰などのリスクを考慮し、平成23年2月4日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、従来と同一の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益はそれぞれ20百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は747百万円減少しております。

② 「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

なお、これによる経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,807	24,208
受取手形及び売掛金	25,591	23,507
有価証券	12,839	15,737
商品及び製品	28,880	22,355
仕掛品	364	231
原材料及び貯蔵品	2,364	1,396
その他	15,659	16,545
貸倒引当金	△174	△186
流動資産合計	116,333	103,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,008	34,992
機械装置及び運搬具（純額）	20,276	20,155
販売機器（純額）	22,393	21,209
土地	52,935	53,982
リース資産（純額）	1,635	2,066
建設仮勘定	894	7
その他（純額）	1,518	1,528
有形固定資産合計	134,662	133,943
無形固定資産		
のれん	48,823	50,172
その他	4,443	4,282
無形固定資産合計	53,267	54,454
投資その他の資産		
投資有価証券	25,568	26,690
前払年金費用	6,395	10,934
その他	15,222	16,773
貸倒引当金	△576	△560
投資その他の資産合計	46,610	53,838
固定資産合計	234,540	242,236
資産合計	350,873	346,032

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,719	14,615
1年内返済予定の長期借入金	2,567	2,567
リース債務	877	1,031
未払法人税等	1,124	1,616
未払金	18,543	15,558
販売促進引当金	186	169
その他	6,302	7,854
流動負債合計	54,322	43,415
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	11,532	12,816
リース債務	1,056	1,231
退職給付引当金	1,127	5,622
役員退職慰労引当金	109	102
負ののれん	—	207
その他	6,846	6,369
固定負債合計	70,673	76,349
負債合計	124,996	119,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	128,021	127,657
自己株式	△25,762	△25,761
株主資本合計	226,562	226,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,022	△255
評価・換算差額等合計	△1,022	△255
少数株主持分	337	324
純資産合計	225,877	226,267
負債純資産合計	350,873	346,032

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	169,182	189,933
売上原価	92,856	97,331
売上総利益	76,326	92,602
販売費及び一般管理費	75,046	86,587
営業利益	1,280	6,014
営業外収益		
受取利息	73	34
受取配当金	153	164
負ののれん償却額	207	207
持分法による投資利益	132	179
その他	206	264
営業外収益合計	773	851
営業外費用		
支払利息	346	348
固定資産除却損	164	305
その他	103	194
営業外費用合計	615	849
経常利益	1,438	6,016
特別利益		
固定資産売却益	95	382
投資有価証券売却益	—	49
補助金収入	118	—
事業譲渡益	34	—
特別利益合計	249	431
特別損失		
投資有価証券評価損	17	—
災害による損失	—	18
たな卸資産処分損	—	483
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	726
特別損失合計	17	1,228
税金等調整前四半期純利益	1,669	5,219
法人税、住民税及び事業税	740	950
法人税等調整額	114	1,885
法人税等合計	854	2,835
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,384
少数株主利益	5	20
四半期純利益	810	2,363

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,669	5,219
減価償却費	10,882	10,383
のれん償却額	113	1,348
負ののれん償却額	△207	△207
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	△4,494
前払年金費用の増減額 (△は増加)	752	4,538
受取利息及び受取配当金	△226	△199
支払利息	346	348
持分法による投資損益 (△は益)	△132	△179
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△49
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	17	—
固定資産売却損益 (△は益)	△98	△393
固定資産除却損	125	235
売上債権の増減額 (△は増加)	△783	△2,083
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,012	△7,625
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,280	406
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,321	10,103
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,169	△695
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	726
その他	84	233
小計	12,952	17,622
利息及び配当金の受取額	211	193
利息の支払額	△348	△352
法人税等の支払額	△1,002	△1,878
法人税等の還付額	145	431
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,957	16,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△37	△2,189
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	705	4,149
固定資産の取得による支出	△7,032	△11,027
固定資産の売却による収入	353	1,447
事業譲渡による収入	628	—
長期貸付けによる支出	△177	△21
長期貸付金の回収による収入	145	166
定期預金の預入による支出	△212	△114
定期預金の払戻による収入	110	205
その他	—	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,516	△7,384

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△1,283
リース債務の返済による支出	△773	△1,498
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,099	△1,999
少数株主への配当金の支払額	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,877	△4,790
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,563	3,842
現金及び現金同等物の期首残高	71,221	37,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	74,784	41,276

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

	飲料・食品の 製造・販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	167,969	1,213	169,182	—	169,182
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	22	23	(23)	—
計	167,970	1,235	169,206	(23)	169,182
営業利益	5,328	242	5,571	(4,291)	1,280

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分を基として行っております。

2. 事業区分

- (1) 飲料・食品の製造・販売事業…飲料・食品の販売、飲料の製造、運送業（飲料物流）、自動販売機関連事業
- (2) その他の事業 …不動産事業、保険代理業、運送業（飲料物流以外）、外食事業

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

連結売上高の10%未満であるため海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別に組織運営体制を確立しており、製品の種類・性質、販売市場等をもとに、「清涼飲料事業」、「健康食品事業」、「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類は以下のとおりであります。

- 清涼飲料事業 : コカ・コーラ等の清涼飲料の製造・販売、運送業（飲料物流）、自動販売機関連事業、不動産事業、保険代理業
- 健康食品事業 : 青汁製品やヒアルロン酸コラーゲン製品等を中心とした健康食品の製造・販売
- その他事業 : 運送業（一般貨物）、外食事業

2. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	172,175	16,952	805	189,933
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	172,175	16,952	805	189,933
セグメント利益	3,951	2,051	11	6,014

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

<追加情報>

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成23年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 連結損益の状況	…	1
2. 利益増減主要因（計画比）	…	1
3. 利益増減主要因（前年比）	…	2
4. 連結貸借対照表および増減主要因	…	3
5. 設備投資、減価償却費、キャッシュ・フロー（連結）	…	5
6. 連結通期予想	…	6
7. セールスの状況	…	7
8. 自動販売機の設置状況	…	10
9. 業種別ホームマーケットシェア	…	10

みんなの あしたに ハッピーを

Coca-Cola West

コカ・コーラウエスト株式会社

平成23年7月28日

1. 連結損益の状況

(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(単位：百万円、%)

	平成22年 第2四半期 実績	平成23年第2四半期					
		計 画 ※	実 績	計画比		前年比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	169,182	192,800	189,933	△ 2,866	△ 1.5	20,750	12.3
営業利益	1,280	4,900	6,014	1,114	22.7	4,734	369.8
経常利益	1,438	4,600	6,016	1,416	30.8	4,578	318.3
四半期純利益	810	900	2,363	1,463	162.6	1,552	191.5

※ 上記計画は、平成23年2月4日付で発表した業績予想数値です。

2. 利益増減主要因 (計画比)

(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	平成23年第2四半期		増減額	主な増減要因
	計画 ※	実績		
売上高	192,800	189,933	△ 2,866	
売上原価	97,000	97,331	331	
売上総利益	95,800	92,602	△ 3,197	清涼飲料事業による影響 △ 2,157 健康食品事業による影響 △ 1,048
販売費及び一般管理費	90,900	86,587	△ 4,312	販売機器費の減 △ 760 販促費、広告宣伝費の減 △ 552 販売手数料の減 △ 482 減価償却費の減 △ 229 保守費の減 △ 181 輸送費の減 △ 124 業務委託費の減 △ 109 健康食品事業による影響 △ 1,113
営業利益	4,900	6,014	1,114	
営業外収益	800	851	51	
営業外費用	1,100	849	△ 250	
経常利益	4,600	6,016	1,416	
特別利益	100	431	331	固定資産売却益 382
特別損失	800	1,228	428	たな卸資産処分損 483
税金等調整前四半期純利益	3,900	5,219	1,319	
法人税等合計	2,950	2,835	△ 114	
少数株主損益調整前 四半期純利益	950	2,384	1,434	
少数株主利益	50	20	△ 29	
四半期純利益	900	2,363	1,463	

※ 上記計画は、平成23年2月4日付で発表した業績予想に基づく数値です。

3. 利益増減主要因（前年比）

（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

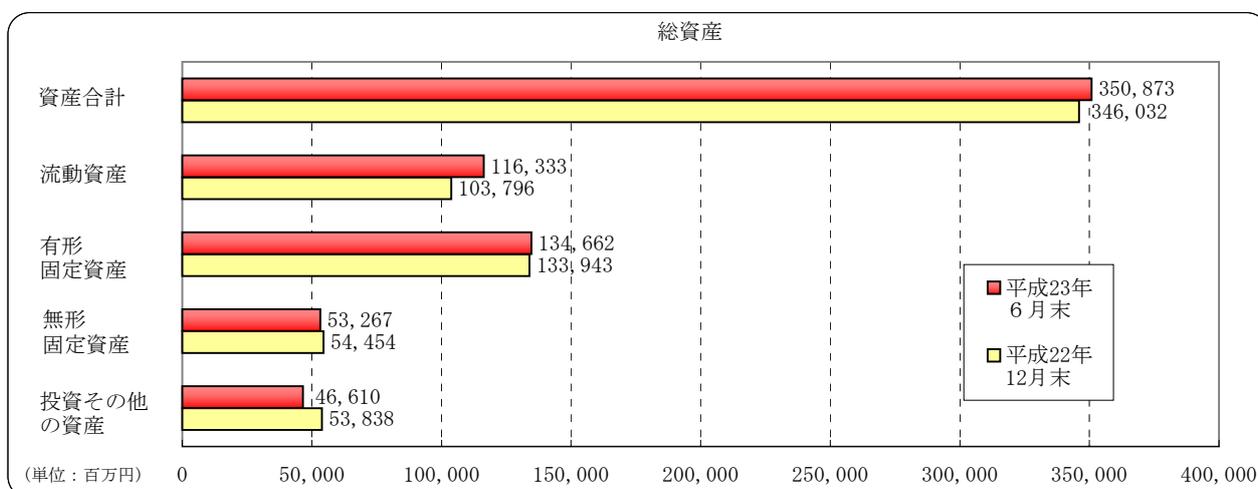
（単位：百万円）

	平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期	増減額	主な増減要因
売上高	169,182	189,933	20,750	
売上原価	92,856	97,331	4,474	
売上総利益	76,326	92,602	16,276	清涼飲料事業による影響 2,552 健康食品事業による影響 13,771
販売費及び一般管理費	75,046	86,587	11,541	販促費、広告宣伝費の増 2,080 販売手数料の増 332 販売機器費の増 302 人件費の減 △ 1,788 減価償却費の減 △ 463 健康食品事業による影響 11,719
営業利益	1,280	6,014	4,734	
営業外収益	773	851	77	
営業外費用	615	849	234	
経常利益	1,438	6,016	4,578	
特別利益	249	431	182	
特別損失	17	1,228	1,211	資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 726 たな卸資産処分損 483
税金等調整前四半期純利益	1,669	5,219	3,549	
法人税等合計	854	2,835	1,981	
少数株主損益調整前 四半期純利益	—	2,384	2,384	
少数株主利益	5	20	15	
四半期純利益	810	2,363	1,552	

4. 連結貸借対照表および増減主要因

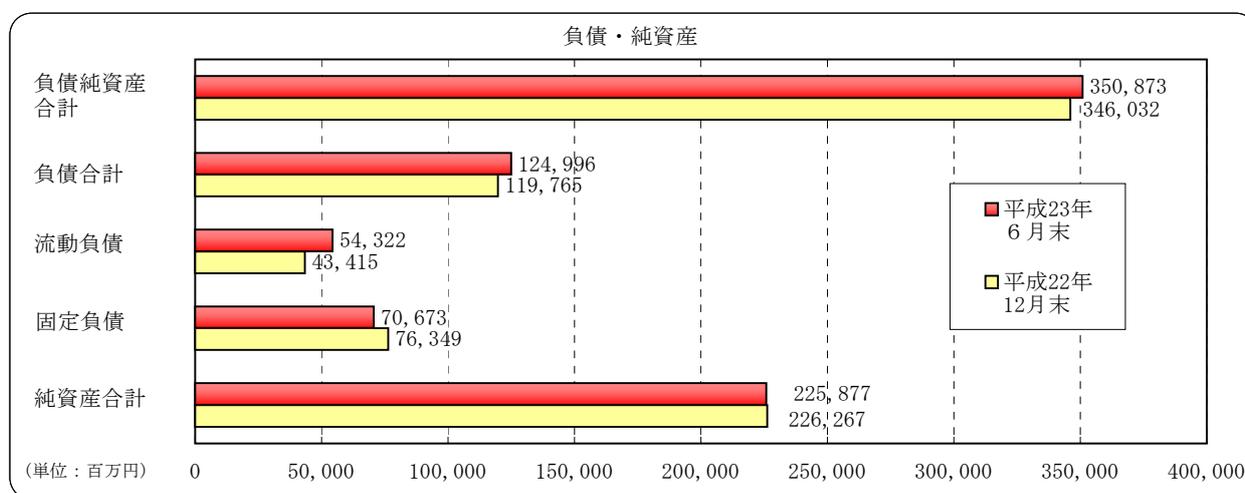
(単位：百万円)

	平成22年 12月末	平成23年 6月末	増減額	主な増減要因
流動資産	103,796	116,333	12,537	
現金及び預金	24,208	30,807	6,599	
受取手形及び売掛金	23,507	25,591	2,083	
有価証券	15,737	12,839	△ 2,897	
商品及び製品	22,355	28,880	6,525	最盛期に向けた在庫の増
仕掛品	231	364	132	
原材料及び貯蔵品	1,396	2,364	968	
その他	16,545	15,659	△ 886	
貸倒引当金	△ 186	△ 174	11	
固定資産	242,236	234,540	△ 7,696	
有形固定資産	133,943	134,662	719	
建物及び構築物(純額)	34,992	35,008	16	
機械装置及び運搬具(純額)	20,155	20,276	120	
販売機器(純額)	21,209	22,393	1,183	
土地	53,982	52,935	△ 1,047	
リース資産(純額)	2,066	1,635	△ 430	
建設仮勘定	7	894	887	
その他(純額)	1,528	1,518	△ 10	
無形固定資産	54,454	53,267	△ 1,187	
のれん	50,172	48,823	△ 1,348	
その他	4,282	4,443	161	
投資その他の資産	53,838	46,610	△ 7,228	
投資有価証券	26,690	25,568	△ 1,122	
前払年金費用	10,934	6,395	△ 4,538	退職給付制度統一による減
その他	16,773	15,222	△ 1,550	
貸倒引当金	△ 560	△ 576	△ 16	
資産合計	346,032	350,873	4,841	



(単位：百万円)

	平成22年 12月末	平成23年 6月末	増減額	主な増減要因
流動負債	43,415	54,322	10,907	
支払手形及び買掛金	14,615	24,719	10,103	たな卸資産の増加に伴う増
1年内返済予定の長期借入金	2,567	2,567	—	
リース債務	1,031	877	△ 154	
未払法人税等	1,616	1,124	△ 492	
未払金	15,558	18,543	2,985	
販売促進引当金	169	186	16	
その他	7,854	6,302	△ 1,551	
固定負債	76,349	70,673	△ 5,676	
社債	50,000	50,000	—	
長期借入金	12,816	11,532	△ 1,283	
リース債務	1,231	1,056	△ 174	
退職給付引当金	5,622	1,127	△ 4,494	退職給付制度の統一による減
役員退職慰労引当金	102	109	7	
負ののれん	207	—	△ 207	
その他	6,369	6,846	476	
負債合計	119,765	124,996	5,231	
株主資本	226,199	226,562	363	
資本金	15,231	15,231	—	
資本剰余金	109,072	109,072	—	
利益剰余金	127,657	128,021	363	
自己株式	△ 25,761	△ 25,762	△ 0	
評価・換算差額等	△ 255	△ 1,022	△ 766	
その他有価証券評価差額金	△ 255	△ 1,022	△ 766	
少数株主持分	324	337	13	
純資産合計	226,267	225,877	△ 390	
負債純資産合計	346,032	350,873	4,841	



5. 設備投資、減価償却費、キャッシュ・フロー（連結）

（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

（1）設備投資、減価償却費

（単位：百万円）

		平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期
設備投資額	土地	—	—
	建物・構築物	1,125	1,344
	機械及び装置	3,483	2,440
	販売機器	4,474	5,816
	その他	1,120	2,663
	合計	10,203	12,265
減価償却費		10,882	10,377

（2）キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	11,957	16,017
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,516	△ 7,384
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,877	△ 4,790
現金及び現金同等物の 四半期末残高	74,784	41,276

6. 連結通期予想

(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(1) 業績予想

(単位：百万円、%)

	平成22年 実績	平成23年 予想	増減額	増減率
売上高	375,764	408,000	32,235	8.6
営業利益	12,003	16,000	3,996	33.3
経常利益	12,659	15,600	2,940	23.2
当期純利益	7,582	7,200	△ 382	△ 5.0

(2) 設備投資、減価償却費

(単位：百万円)

		平成22年 実績	平成23年 予想
設備 投資 額	土地	16	875
	建物・構築物	1,632	3,902
	機械及び装置	4,704	9,755
	販売機器	7,604	10,887
	その他	2,567	4,911
	合計	16,524	30,330
減価償却費		22,405	22,342

7. セールスの状況

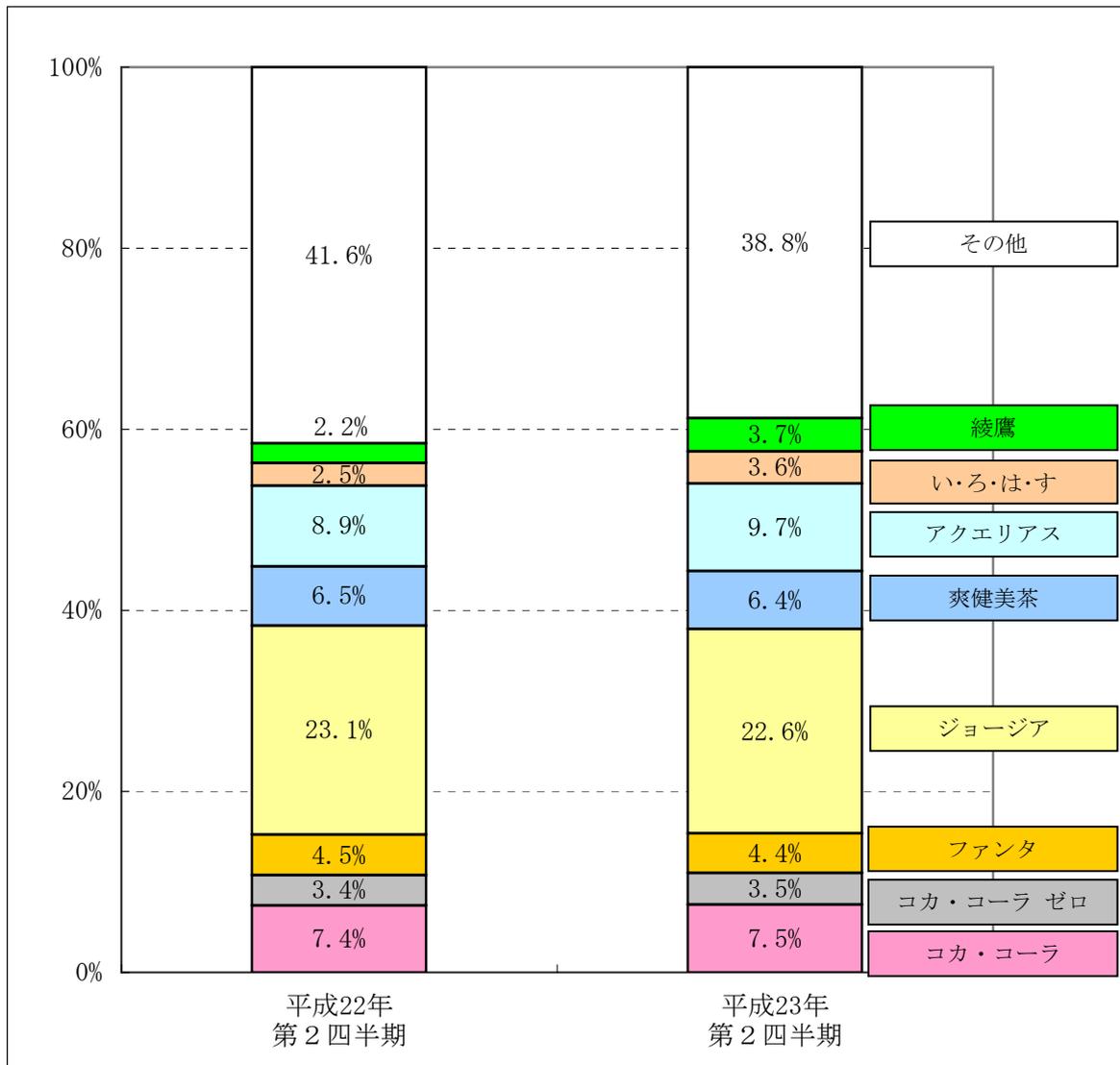
(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

<ブランド別>

(単位：千ケース、%)

		平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期	増減率
コ ア 8	コカ・コーラ	6,154	6,423	+4.4
	コカ・コーラ ゼロ	2,801	3,000	+7.1
	ファンタ	3,716	3,746	+0.8
	ジョージア	19,218	19,373	+0.8
	爽健美茶	5,445	5,485	+0.7
	アクエリアス	7,432	8,281	+11.4
	い・ろ・は・す	2,089	3,071	+47.0
	綾鷹	1,803	3,135	+73.9
その他		34,592	33,262	△3.8
合計		83,250	85,776	+3.0

<ブランド別構成比>



<チャンネル別>

(単位：千ケース、%)

		平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期	増減率
ベンディング	※1	27,500	25,925	△5.7
スーパーマーケット	※2	20,842	21,445	+2.9
コンビニエンスストア	※3	8,898	9,362	+5.2
リテール	※4	5,880	6,015	+2.3
フードサービス	※5	8,544	8,788	+2.9
その他		11,585	14,242	+22.9
合計		83,250	85,776	+3.0

※1 ベンディング：自動販売機を通じてお客さまに商品を届けるビジネスのこと（小売業）。

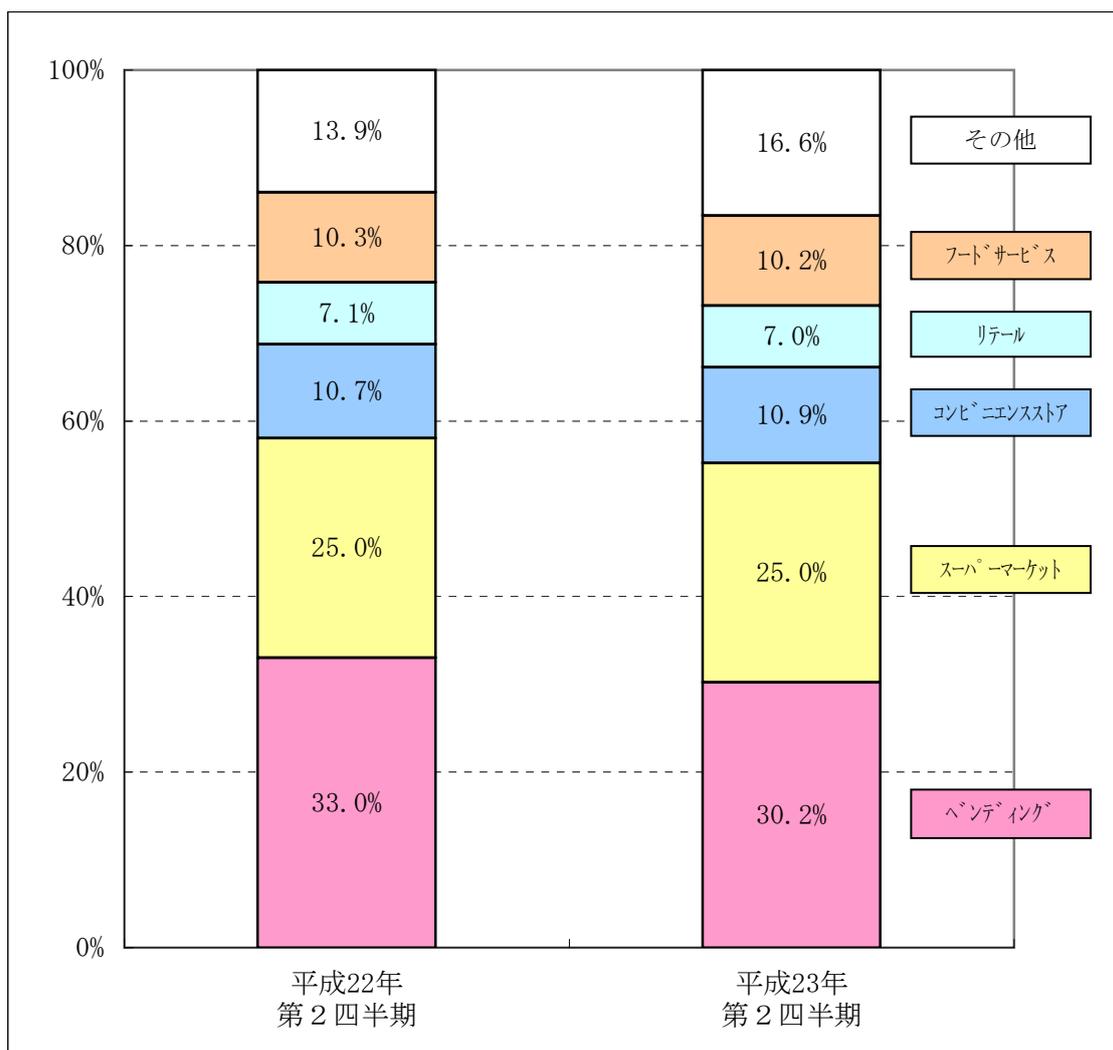
※2 スーパーマーケット：スーパーマーケット、ドラッグストア等におけるビジネスのこと（卸売業）。

※3 コンビニエンスストア：コンビニエンスチェーン店の手売りマーケットにおけるビジネスのこと。

※4 リテール：一般食料品店、酒店などの手売りマーケットにおけるビジネスのこと。

※5 フードサービス：外食マーケットにおいて、シロップ販売を行うビジネスのこと。

<チャンネル別構成比>

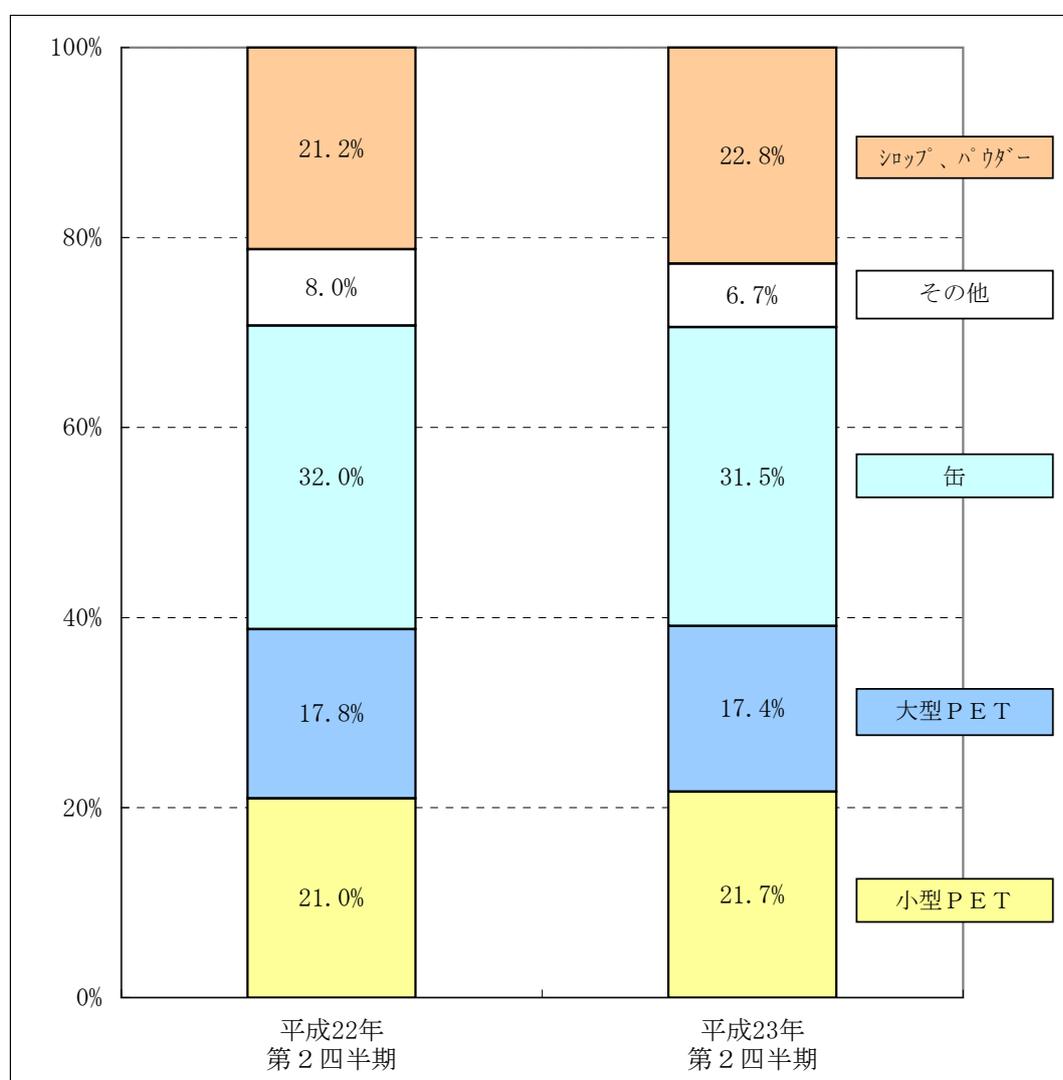


<パッケージ別>

(単位：千ケース、%)

		平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期	増減率
P E T	小型 (1,020ml以下)	17,461	18,580	+6.4
	大型 (1,021ml以上)	14,812	14,960	+1.0
	小計	32,273	33,541	+3.9
缶		26,614	26,997	+1.4
その他		6,684	5,722	△14.4
シロップ、パウダー		17,679	19,517	+10.4
合計		83,250	85,776	+3.0

<パッケージ別構成比>



8. 自動販売機の設置状況

(1) 設置台数

(単位：台)

	平成22年 12月末	平成23年 6月末	増減
缶自販機	243,838	245,030	+1,192
カップマシン	25,902	25,170	△732
合計	269,740	270,200	+460

注) 上記台数は、コカ・コーラウエスト株式会社および連結子会社である西日本ビバレッジ株式会社の設置台数。
今回からチルドカップ自動販売機を上記台数に含めております。

(2) マーケットシェア

(単位：%)

	平成22年	平成23年
アウトマーケットシェア	33.6	—

出典：インテージ 自動販売機調査 (調査期間：5月～6月)

9. 業種別ホームマーケットシェア

(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(単位：%)

	平成22年 第2四半期	平成23年 第2四半期
合計	21.6	21.5
スーパーマーケット	22.3	21.7
コンビニエンスストア	19.3	21.1
一般店	24.0	22.2
ドラッグストア	21.3	20.5

出典：インテージ ストアオーディット